

【会合の記録】

■越谷市建築協定フォーラム 第2回運営会議(H22.11.13)議事録

- ・団地入口用表示板の設置方法は大理石版にコンクリートボンドで接着する形を2つの方法で説明した。地区によっては直接設置できる所もあり、各地区で設置場所と設置方法は委せることとした。公園や道路に設置する場合には、越谷市に占用許可手続きを依頼する。
- ・運営委員会役員用プレートは横型の希望が多く、この2案から選定する。両方ともマークを青色とし下地は金属色とする。
- ・役員用プレートの設置方法は難しく、固定すると役員の交代の際に剥がさなければならず、ひもでぶら下げると風でドア等にキズが付くなどの意見があり、適当な方法が見つからなかった。代案として、マグネットシートに印刷する案や、回覧板形式の台紙を作成する等の意見があった。
- ・今回の結論としては、団地入口用の表示板は再度アンケートを取り、希望があった地区のものをモデル的に製作をする。役員用プレートは設置方法まで提案したものでアンケートを取り、全地区に配布する方針とした。



2. 建築協定地区現地見学会について

市内協定地区を順番に訪問し、まちなみを見学しながら、建築協定の運営や管理について交流するための見学会を開催する。外から見るだけではわからない様々な事情や状況を知ることができると同時に、迎え入れる側も、自分の地区の案内・説明を通して、管理やコミュニティ活動への自覚を促す良い機会となる。

会員相互の情報交流の機会づくりは、当フォーラムの目的にかなった重要な活動のひとつである。

- 今年度の見学会は平成22年11月27日に決定したので、詳細を参加者に説明した。

- ・午前中は越谷市内で最も新しい建築協定地区「レイクタウン美環の杜」と、午後には昨年国交大臣賞を受賞した「こしがや・四季の路」の、2箇所を見学する。
- ・それぞれ現地集合とし、「レイクタウン美環の杜」は集会所前、「こしがや・四季の路」はゲスト用駐車場前とする。

